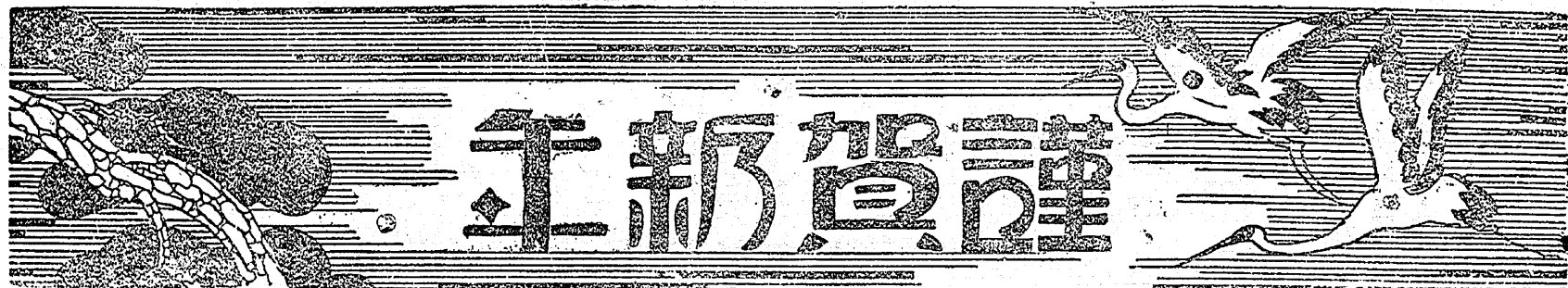
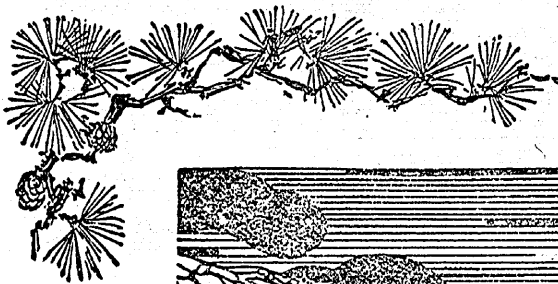


磐城時報



成弘田岡 人刷印人行發衆輯編 地番四一町屋紺町平郡城石縣島福
社報時城磐 行發 地番四一町屋紺町平郡城石縣島福



新年祝詞

平町長 青沼鋒太郎

恭しく惟みるに萬世一系皇統連綿として寶祚の彌榮と我が日の本の天津日嗣の
皇太子殿下の御健かに御發育御成長遊ばさるゝ天壤と窮りなき 皇室の御繁
榮を衷心より壽き奉り茲に昭和十年の新春を迎へ町民各位と共に一堂に相會し親し
く歳華更新の祝詞を述べざるを得ずことば不肖の最も光榮とする所でありまして洵に御同慶に堪へざる次第であります。

静に昭和九年を顧みまするに世界平和の機構たる國際聯盟は其の權威を失墜し不戰條約も名實相悖はす世界平和の維持に最も適切有
効なる軍縮會議の豫備會商は英京倫敦に於て會談中でありましたが舊臘十二月十九日に至り豫備交渉を中止し又華府條約は曩に會議
の當時に比して今日は全く國際情勢を異にし即ち滿洲國出現及國際聯盟退却は極東の情勢を變化せしめたのであります。該條約廢棄
通告の御諮詢案は舊臘十二月二十一日の閣議に於て最後の正式決定を見るに至りまして本年は我國の危機を叫ばれつゝあります。一千
九百三十五年の重大時局に遭遇するものであります。吾々國民たるもの 皇運を扶翼するの任更に一段の重きを加へ聯盟離脱に關し換
發せられられました。大詔の聖旨を奉體し各其職に淬勵し國家永遠の興隆を企圖遂行し廣大無限なる天恩の萬一に酬ひ奉るの至誠を
輸さねばならぬと信するものであります。

倍て經濟界の情勢は軍需品工業が地方的刺戟を與へ昭和七年以來の匡救事業は地方の自力更生を促しましたが數年來世界的經濟不況
の影響は我國農村の疲弊、中小商工業者の困憊其極に達しました折柄偶々風水害其他非常の災厄頻發し、殊に天恵の薄き我が東北各
縣に於ける就中本縣會津方面の冷害凶作及彌價の暴落は其慘狀正視すべからざるものがあります。畏れ多くも 聖上陛下
には打續く災厄に對し深く御珍念あらせられ給ひ巨額の御内帑金御下賜の恩命を拜し洵に恐懼感激措く克はざる次第であります。

又内外志士仁人の同情は之等罹災民に對し滿腔の誠意を披瀝し慰問救護せられましたことは眞に感謝に堪へざるものであります。
翻つて本町自治の實績を顧みますと時勢の不況に處し克く協力一致の實を擧げ堅實なる町勢の發展刷新に努め納税の成績此を前年
に比較致しますれば稍良好なるを認め傳染病患者の發生減少したるが如き寔に悦ぶべき現象であります。又土木交通の事業は第六號
國道一丁目より四丁目に至る街路の舗装を終り夏井川改修工事も亦進捗致し既に鎌田町地内に及び更に之が付帯事業たる新川大改修
も着工近きにあらんとし其他町道路の改修、補修着々完成を告げ高麗橋の竣功開通は交通の便備はると共に本町に一つの美觀を添ふ
ることとなりました。又田町より南町に通ずる排水工事は豫期の如く完成いたし從來降雨毎に氾濫したる悪水の被害を蒙ることなく
其効果の著しきを認めらるゝ事は悦ばしき次第であります。

更に都市計画法による平町都市計劃事業は内務大臣の指定により順調に進捗しつゝありまして今や發展の途上にある吾平町も市制施
行を目標といたしまして舊年末之が調査機關を設け具體調査を進行せんとする準備中でありまして。更に教育に關する設備は町勢の進
展に伴ふ就學児童の増加の趨勢に依り前年來の懸案たる第四小學校の設置、及圖書館の施設其他公會堂の建築、町役場の改築、道路
の舗装、下水道の計劃、工場の誘致等緩急を考慮し鋭意其の準備を進めつゝあるものであります。而して多年地方民の熱望しつゝあり
ました平、小名濱間國有鐵道も昭和十年度に於て測量に着手せられ引續き着工の筈でありまして小名濱築港完成と同時に開通を見る
に至ることゝ存じます。斯く算へ来りますれば平町の前途益々望み多きを思はしむるのであります。されば我平町は須らく舉町一致
今後向上發展に邁進せねばならぬと信するものであります。

叙上申述べました如く我平町は町政諸般に亘り逐年施設の多きを加ふると共に此の重大なる時局に鑑みまして地方自治の機能を發揮
いたし夙夜精勵國防に、産業に、教育に、衛生に尙一層の努力を拂ひ進んで帝國の隆昌と本町の發展を圖り以て優渥なる 皇恩に酬
ひ奉らんことを念願して已まぬものであります。

昭和十年一月一日



昭和十年を迎へて 石城政友どう動く？

解散豫想と縣議選舉で 新舊政友の猛烈な抗争 密かに機を待つ民政黨

相當期待を以て迎へられた昭和十一年の第一層拍車づけられたものな
九年は農銀重役問題で石城新舊言へやう。来る議會は解散とな
政友の根強い争ひを見せた。けるであらうと見てゐる向きもあ
で歳晩に至つて臨時議會に於けるが、筆者は政府にしても代議
政友會の所謂爆彈動議によつて士の大分も之を欲せざる事を
て必然と豫想された議會解散空想像する時殆んど絶對的に解散
氣のため地方政界關係者がヒヤを信せざるものであるが、万
ソットさせられた。けで、それ解散を見る場合は先ず候補者推
も鼻がつかせ遂にこの年も去つて薦に於て血を見る如き猛烈な競
しつた。而して愈々益々多端争となるではないかと憂慮して
を豫想される昭和十年を迎へたるものである。常道から言へ
のである。目下通常帝國議會は代議士鈴木辰三郎氏は石城郡
休會中であるが、臨時議會以來の公認として當選した人であり
大政友會内につつた内紛は動搖佐藤庄太郎氏は相馬郡から名乗
を捲き起し分裂の兆濃厚となりやうとあげた人であるから解散の
少くとも五六十名内外の脱黨を場合は再び鈴木氏を推すべきで
免れぬであらうと言はれ、隣縣あらうといふ論が擡頭するであ
茨城では既に新黨樹立の運びにらうが、相馬方面からは松本孫
至つた程で、中央政界の動搖は右衛門氏が出馬する事明白であ
遂に本縣にも影響し村内政友にから相當の背景を有する佐藤
も動搖を來すであらうと見られ代議士が石城より名乗りをあげ
てゐるが、更に新舊政友の根強可く努力する事によつて選舉以
い反目を如何ともし得ない石上の争ひを演ずる事火を見るよ
城郡に及ぼす影響は最も甚大でり明かである。兩者の争ひが如
あらうといはれてゐる。即ち何に落ちつかはれまいと、に斷
中央政界の如何に拘はらず常に言を避けるが、農銀重役問題以
對立の暗流に悩まされてゐる石來露骨になつて來た新舊政友の
城政友會は之を楔機として更に試金石として一般の注目してゐ
激しき抗争を演ずるものと見る處である。續いて九月には縣
可く、過般の農銀重役改選問題會議員の選舉がある。現政友會
で新政友系と見る可き貴族院議縣議は井上茂作氏と田子健吉氏
員金成通氏が舊政友の人々の擁護も三名乃至四名の候補者をあ
立した巨豪候補者諸橋久太郎氏ぐ可く、候補者として目をつけ
に吠えつき一蹴された怨恨によ

(二面より續く)
うから、かく觀じれば關内、民政黨をして名を成さしめる結
られてゐる人に阿部政衛門、松
本徳一、兒玉萬平、赤津庄兵衛
はなく、キラ星の如き人物を擁
古川傳一、小野晋平、伊藤茂之
助、井上茂作、田子健吉、關内
補難に陥らるし、新政友鈴木
正一、蓮沼龍輔、木村守江氏等
代議士系では結局蓮沼龍輔氏を
ある。この中井上茂作氏は特
推すに至るであらうと見られる
便損害に想倒して早くも政友派

謹賀新年

安島重三郎

縣會議員 石川徳壽

平町會議員

吉田金作

佐々木龍若

坂本隆藏

小野伊佐治

吉村安治郎

馬目雅治

謹賀新年

鳥料理 平町田町
水たき 魚榮
仕出し 電話四二四番

平町會議員研究會

二本松電氣株式會社 小名濱支店

丸はん家具店
丸はん家具製作所

鶴屋旅館
電話一一番

湯本藝妓屋組合

江尻達樹

綿類製造販賣 高木綿店

平町四丁目 電話四四二番

三井質店

平町白銀町 電話六〇六番

魚問屋

平町新川町 電話五二八番

諸橋吳服店

平町新川町 電話五十番

田中宣治

平町新川町 電話五六七番

三三三屋肉店

平町田町 電話三三三番

早川清久

大谷時計店

東京後藤衛生綿特約店
田巻商店
平町三丁目 電話六七二番

伊勢屋商店

平町極道小路
木村佐藤福太郎

活動世界館

平町驛前 電話四四六番

コンパル

西洋料理 平町田町 電話六六六番

谷屋吳服店

平町新川町 電話四三七番

東北興信所

平町田町 所長 赤塚彦治

野崎自動車部

昭和田クシ 電話三四〇番

小野屋藥店

大黒屋

湯本町 電話一六六番

井坂千代松

割烹末廣

鈴木梅次郎

赤井村大倉 多喜炭礦

江名町役場 瀧高 枝

河野嘉藏

本山 武

四家又一

小野園次郎

水野政次郎

立花雄七

久保田 眞

錦盛館

澤辰之助

鈴木牛乳舎

遠藤惣三郎

丹野齒科醫院

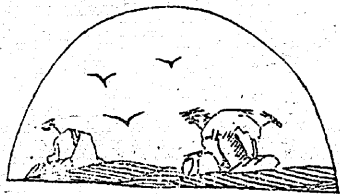
織田齒科醫院

明雲堂眼科醫院

扇屋旅館
扇屋酒店
福好工業合資會社
強口唯七郎

謹賀新年
木村病院
御料理 松の屋
平町新川町

勿來町窪田(電話四七番)
旅館 御料理 松の屋
謹賀新年
木村病院
平町新川町



残して置きたい

日本の正月情緒

緑濃やかな松こ

目出度き竹の姿

この数年正月になると松飾り、しめ飾りを中心に経済上からいろいろ非難攻撃の説が

線かへされるけれど虚禮、虚飾に涉らないかぎり堅苦しい議論を立てなくてもよいであらう。あの緑濃き松と、すつきりした竹の姿とは俗世界に働かれ、これとついで一抹の清新な氣を興へると共に一陽來復の若々しい氣分を興へるではないか。

新春の挨拶

こゝに再び新春を迎へた。満目新たに輝き瑞光は各所に漲つてゐる。而して本紙は創立以來十有餘年紙齢實に三千六百有餘號を加へ、益々堅實眞摯の態度で江湖諸賢に見ゆるを得るのである。吾人はたゞ天恵の偉なるを想ひ更に諸賢の厚い御同情に感泣するの外はない。

な地方では宗教上の信念からかうした風習を味はさないでゐるが、これはしめ飾りや神事の神事としてゐる事から來た事であつて、この点は容易に斷定を下せない事である。傳説からいへば、天の岩戸に初まつてゐるものであるけれど、この方からいつても、天照大神は神統ばかりのものではなく、日本國民全体から考へて見るべきものだと思ふ。私の研究からいふと紀源はむしろ佛敎の方にあると思ふ。密敎の戒壇の四方に柱を立て、繩を張るといふ事があるが、これなどはしめ飾りといふのが、しめ飾りといふのは左からなふのめ繩とおなじく左からなふのめ繩あり、支那の道敎などにもかうした形式があり、御幣の如きも佛敎にある田樂幣から來たものに考ふべき事だと思ふ。

節約といふもいふ事ではあるが、酒と女とがなければ成立僅の費用で維持する事が出来るたない年末、年始の宴會といふ厚風美俗を無理に捨て去るにもものを節約したならば、節約といふ意味からいつても、より以上の結果が得られるだらうと思ふ。大變な問題はないと思ふ。それよ。

恭賀新年

福島縣石城郡赤井村高萩
福島縣石城郡上遠野村根岸
小玉川
加藤組
東北出張所
會津大沼郡本郷町

鈴木自動車部
和泉屋旅館
平町四丁目
電話二一七番

草野染工場
平町鎌田町
電話三四八番

石城郡湯本町
渡邊長作
講負業

平町聚樂館通
支那料理 富士食堂
電話六七七番
酒類販賣 緑川酒店
電話四八六番

平町洋服
商工組合
佐川洋行 佐川洋行 佐川洋行 佐川洋行 佐川洋行
鈴木洋行 鈴木洋行 鈴木洋行 鈴木洋行 鈴木洋行
影山洋行 影山洋行 影山洋行 影山洋行 影山洋行
金子洋行 金子洋行 金子洋行 金子洋行 金子洋行
江島洋行 江島洋行 江島洋行 江島洋行 江島洋行
渡邊洋行 渡邊洋行 渡邊洋行 渡邊洋行 渡邊洋行
小松洋行 小松洋行 小松洋行 小松洋行 小松洋行
高島洋行 高島洋行 高島洋行 高島洋行 高島洋行
市川洋行 市川洋行 市川洋行 市川洋行 市川洋行
中島洋行 中島洋行 中島洋行 中島洋行 中島洋行
京屋洋行 京屋洋行 京屋洋行 京屋洋行 京屋洋行
丸善洋行 丸善洋行 丸善洋行 丸善洋行 丸善洋行
清藤洋行 清藤洋行 清藤洋行 清藤洋行 清藤洋行
高崎洋行 高崎洋行 高崎洋行 高崎洋行 高崎洋行

田邊忠造
平町白銀町
電話二九四番

永島製麵所
うごん製造
うごん貸打
小麥貸引
平古鍛冶町

齋藤泰治
石城郡神谷村
農事試験分場

草野質店
平町鍛冶町
電話八八番
御料理 月廼家
平町田町
電話三〇四番

石城郡玉川村
小瀧鑛泉
石城郡植田町
麻雀平和俱樂部
平町田町(三益向)
坂本龜太郎
植田町
植田醫院
電話五十番

諸石材彫刻所
山野邊大五郎
平町紺屋町

御料理 谷口
平一・電一五六番

芹澤タクシ
平町三丁目
電話三九五番

根本時計店
平町二丁目
電話

石城郡内郷村
沼田濱之助
助役 金澤爲喜
山田村大平組
大平一治郎
植田町
鷺酒造店
電話三番
品川白煉瓦株式會社
堂平原料採掘古市事務所
古市喜三郎
石城郡赤井村

御料理 山田屋別館
電話二一八番
御料理 山田屋本店
電話八番

牛乳搾取業
武田三郎
眞野村江垂

鍋屋 佐藤清四郎
原町

材木商 星林治
原町
龜屋酒造店
原町
星酒造店
鹿島町

油屋吳服店
原町
綿屋吳服店
小高町
石田屋吳服店
小高町
伊勢屋旅館
原町
中野屋旅館
原町
花月旅館
原町
櫻井忠陸
外支局員一同

磐城共済病院
院長 醫學博士
石山謙郎

大床 石崎幸一
平町田町(電一八八)

凍氷仲買人
福島縣第二區

入山採炭株式會社
坑務所
石城郡湯本町

大敷事務所
石城郡豐間村

湯本信用無盡株式會社

馬目自動車部
小名濱町



佛敎にある田樂幣から来たものに考ふべき事だと思ふ。

密敎の戒壇の四方に柱を立て、繩を張るといふ事があるが、これが連想の端緒、なくてはならぬ。殊に兒童の生活を考慮の中に、繩とおなじく左からなふので、彼れ等の憧憬を打ちこはすといふあり、支那の道敎などにもかうした形式があり、御幣の如きも充分に考ふべき事だと思ふ。

入山採炭株式會社 石城郡湯本町	磐城炭礦株式會社 石城郡内郷村	古河石炭株式會社 石城郡内郷村	好間鑛業所 所長 工學博士 下野十朗	片倉磐城製糸株式會社	平藝妓屋組合	平西洋料理業組合	石城郡町村長	石城郡各學校長	平料理屋組合	平運輸株式會社	東部電力平營業所	湯本溫泉旅館組合	石城郡銀行組合	豐間村長 鈴木藤次郎	磐城建物株式會社
--------------------	--------------------	--------------------	-----------------------	------------	--------	----------	--------	---------	--------	---------	----------	----------	---------	------------	----------

石城郡湯本町 土木渡邊長作	平町聚樂館通 和洋料理 富士食堂 電話六七七番	酒類販賣 綠川酒店 電話四八六番
------------------	-------------------------------	---------------------

石城郡豐間村 大敷事務所	湯本信用無盡株式會社	謹賀新年 磐城鐵工機械同業組合	河田鐵工場 日東商會 佐藤鐵工場 武藏鐵工場 鈴木鐵工場 眞柄鐵工場 山田鐵工場 佐藤治郎鐵工場 菊地鐵工場 吉田鐵工場 荒木製作所 山田文一商店 吉野鐵工場 吉健鐵工場 渡邊鐵工場 佐藤善男鉋金工場	三瓶商會 吉伴製作所 石川義助商店 高木工業所 田邊忠造商店 木村電氣商會 木田鐵工場 吉田由松 吉野金吾 工藤鐵工場 那須德樂 渡邊辰三郎 松村宏三郎 藤波電氣工業所 鈴木寅重 磐城工業商會	平銃砲火藥店 渡邊貫一	大村屋旅館 大村一郎	平町田町 白菊廣瀨支店 電話五四番	平町驛前 住吉屋支店 電話一四九番
-----------------	------------	--------------------	---	---	----------------	---------------	-------------------------	-------------------------

齋藤泰治 平町鍛冶町	草野質店 電話八八番	芹澤タクシ 平町三丁目 電話二九五番	根本時計店 平町二丁目 電話三〇四番
---------------	---------------	--------------------------	--------------------------

大床 石崎幸一 平町田町(電一八八)	凍水仲買人 福島縣第二區 在郷軍人分會長	藤田榮助 石城郡山田村 村長	秋山藏之助 山田信用販賣購買組合 組合長 下山田嘉一郎	佐川朗 事務 蛭田三郎	石城郡湯本町 郵便局長 鯨岡潔	石城郡永戸村合戸 合戸郵便局長 合津音一	永戸荘組合村長 荻野倉太	箕輪村高野 高野鑛泉新湯	阿部材木店 平町研町 電話四九四番
-----------------------	----------------------------	----------------------	-----------------------------------	----------------	--------------------	----------------------------	-----------------	-----------------	-------------------------

材木商 星林治 原町	龜屋酒造店 原町	星酒造店 鹿島町	中野屋旅館 原町	花月旅館 原町	櫻井忠陸 磐城時報原町相馬支局 外支局員一同
---------------	-------------	-------------	-------------	------------	------------------------------

磐城共濟病院 院長 醫學博士 石山謙郎	馬目自動車部 小名濱町 電話一三八番	中山琢三	湯本三業組合	平消防組幹部 組頭 井上茂作 副組頭 關内正一 庶務部長 鈴木長三郎 會計部長 堀江正茂 第一部長 酒井清 第二部長 岡田政次郎 第三部長 鈴木彌太郎 小頭 高根澤長太郎 三井富吉 佐川三良 田中宣治	色川材木店 平町極地小路	赤津庄兵衛	福來總十郎	平三業保健組合
------------------------	--------------------------	------	--------	---	-----------------	-------	-------	---------

恭賀新年

小室萬五郎
四倉町原田

四倉町長 新妻盛

木村守江
四倉町本町(電話三五五番)

四倉小學校長 菊地正一
外職員一同

大浦小學校職員俱樂部

四倉築港事務所 所長 關根高次

四倉消防組 組頭 金成岩吉
大浦消防組 組頭 片寄市重

大野消防組 組頭 木村庄助
大久村役場 村長 柳井義一

大浦消防組 組頭 早川祐次
大久村役場 助役 飯島助藏

草野消防組 組頭 新妻孝太郎
大浦村役場 助役 佐藤信敬

大久消防組 組頭 根本六郎
大野村役場 助役 荒川庸幸

帝國在郷軍人會 分會長 石川正司

四倉水難救濟會 副會長 新妻春治

四倉漁業組合 組合長 菅波末吉

四倉藝妓屋組合 四倉料理屋組合 四倉保健康組合

四倉購買信用組合 四倉本町青年義團長 小港利喜三

三星商會 四倉新町(電一四七)

肥料・石灰 土木建築設計請負 昭和産業合資會社

海産物販賣 各種肥料販賣 小港平次郎商店

土木請負業 酒井英吉 四倉仲町

球場 四倉仲町 ビリヤード ミカド 長谷川久

貸切専門 田村屋タクシー 四倉仲町(電三三二)

銘酒 長谷川商店 本町(電五十三)

鈴木牛乳舎 四倉驛前

大野村字戸田 吉田保之助

味噌 根本權次郎商店 大浦村字細谷

平屋吳服店 四倉本町(電十五番)

平熊藥店 四倉本町(電一五番)

銘酒 松本酒店 小錦特約店 鈴木茂

早川藥局 藥劑師 早川雅偉 大浦村上仁井田

佐藤仲商店 四倉新町(電四一番)

本村醫院 院長 木村正夫 大野村字山田

銘酒 四家酒店 四倉仲町(電一四五)

旅館 旭タクシー 新町(電七一七番)

銘酒 古川酒店 四倉新町(電一〇番)

海盛座 四倉驛前

江口清 四倉町原田

四倉營業所 電六番

深谷藥局 處方調劑 四倉新町(電二八番)

鱗屋合名會社 味噌・醬油・醸造元 四倉新町(電一〇八)

水野屋本店 本町(電話七番)

植田材木店 貨物自動車部 四倉仲町(電一一三)

四倉町會議員 (順不同)

吉田 彌十郎

植田 萬次郎

面川 龜之助

菅波 未吉

大和田 安太郎

鈴木 三郎

四倉驛前 關彰商店四倉支店 電四八番

大浦村會議員 (順不同)

高崎 清平

仲野 忠太郎

波邊 貴松

高木 忠治

新川 三郎

根本 辰三

愛川 治平

新妻 辰三

鈴木 辰三

鈴木 辰三

鈴木 辰三

鈴木 辰三

鈴木 辰三

原町警務署長 野坂秀榮

辯護士 佐藤正人 中村町

仙臺專賣局 小高出張所 伊藤博

社司 佐藤左内 石神村

一日一善會支部長 松島神靈道本院 院長 大教正 佐藤靈清

原町別院輪番 吉田快善

鹽谷雄周 半野時雨郎

大橋友成 相良純次郎

星源太郎 池田長八

星源太郎 池田長八

阿部利助 相馬原町支店

常盤銀行 原町支店

福島電燈株式會社 原町營業所

原町紡織株式會社 原町工場

原町警務署長 野坂秀榮

辯護士 佐藤正人 中村町

仙臺專賣局 小高出張所 伊藤博

社司 佐藤左内 石神村

一日一善會支部長 松島神靈道本院 院長 大教正 佐藤靈清

原町別院輪番 吉田快善

鹽谷雄周 半野時雨郎

大橋友成 相良純次郎

星源太郎 池田長八

星源太郎 池田長八

阿部利助 相馬原町支店

常盤銀行 原町支店

福島電燈株式會社 原町營業所

原町紡織株式會社 原町工場

原町警務署長 野坂秀榮

辯護士 佐藤正人 中村町

仙臺專賣局 小高出張所 伊藤博

社司 佐藤左内 石神村

一日一善會支部長 松島神靈道本院 院長 大教正 佐藤靈清

原町別院輪番 吉田快善

鹽谷雄周 半野時雨郎

大橋友成 相良純次郎

星源太郎 池田長八

星源太郎 池田長八

阿部利助 相馬原町支店

常盤銀行 原町支店

福島電燈株式會社 原町營業所

原町紡織株式會社 原町工場

原町警務署長 野坂秀榮

辯護士 佐藤正人 中村町

仙臺專賣局 小高出張所 伊藤博

社司 佐藤左内 石神村

一日一善會支部長 松島神靈道本院 院長 大教正 佐藤靈清

原町別院輪番 吉田快善

鹽谷雄周 半野時雨郎

大橋友成 相良純次郎

星源太郎 池田長八

星源太郎 池田長八

阿部利助 相馬原町支店

常盤銀行 原町支店

福島電燈株式會社 原町營業所

原町紡織株式會社 原町工場

組頭 早川祐次
助役 飯島助藏
収入役 強口次郎

組頭 新妻孝太郎
大浦村役場 助役 佐藤信敬

大久消防組
組頭 根本六郎
大野村役場 助役 荒川庸幸

謹賀新年

豐間村料理店組合
福島炭礦 菊地德太郎
堀江工業株式會社
江口 忠一

恭賀新年
平町土橋 (電六六二) **仙魚店**
鈴木藏太

謹賀新年
旅 甲 陽 館
平驛前 (電話一四八番)

平町鎌田町 (電話六八八)
金成自動車部
金成 國雅

有限責任 平庶民金庫
信用組合 野崎滿藏
縣會縣員

日本ゼネラルモーターズ株式會社
シボレー自動車販賣店
株式會社 福島モーター商會 **平出張所**
平町三丁目 (電話一八七)

平土木監督所長
小林清吉

勿來町出藏
大日本炭礦株式會社勿來礦
飯場 **二階堂哲男**
同業部

酒井英吉
球場 四倉仲町
ビリヤード
ミカド
長谷川 久

製一品料理 **一心**
四倉仲町 (電七四番)

銘福美 **四家酒店**
四倉仲町 (電一四五)

旅旭館 吉田 正
旭タクシー
新町 (電七二番)

貸切專門
田村屋タクシー
四倉仲町 (電一三二)

杉山炭礦鑛業所
平町二丁目 (電話一三番)

大一屋商店
平町田町 (電話二九七番)
社長 栗原欣次郎

平看護婦會
清野キヨ

平驛前
宮川理容所
宮川 幸吉

辯護士 **眞木桓**

井坂 婦人科 醫院
平町田町 (電話五五九番)

平町一丁目
電話四七〇番
聚樂園

平町一丁目
電話一〇七番
聚樂園

平町五丁目角
磐城無盡商會
會長 小宅嘉久治

山野邊藥局
山野邊 東次郎

三井自動車部
平町二丁目 (電話六八五番)

好間軌道自動車部
平古銀治町 (電話四二三番)

小港 宗作
豐田 耕次郎
鈴木 幸丸
青木 公九郎
長谷川 西次郎
須藤 久太郎
金成 岩吉
古河 定兵衛
長谷川 長太郎
菅波 府太郎
豐田 美孝

原町實科高等女學校長
村田嘉吉

原町郵便局長
岩崎清

大田郵便局長
西哲治

七十七銀行
相馬原町支店
常磐銀行
原町支店
福島電燈株式會社
原町營業所
原町紡織株式會社
原町工場

謹賀新年

吉田眼科病院
吉田久雄

藤沼 醫院
藤沼平治郎

金成 醫院
金成忠義

矢吹 醫院
矢吹大輔

酒井 醫院
酒井國三郎

大和田 醫院
大和田郡司

松村 性病科醫院
松村鐵郎

星眼科醫院
星恒明

大森 醫院
大森勇

鈴木眼科醫院
鈴木亮

大河内 整形醫院
大河内四郎

大河内 外科醫院
大河内四郎

白土 外科醫院
白土德彌

志賀小兒科醫院
志賀政光

諸橋外科醫院
醫學博士 諸橋鐵彌
平町新川町 (電四六四)

勿來町
小林醫院
電話四八番

平町南町
鈴木齒科醫院
鈴木五郎

平町砂糖商
同業組合

牛御料理
石川亭
平町田町 (電話四三番)

加藤營業所
加藤 丈夫

かまぼこ製造
折詰仕出し
藤 寅
平町一丁目
電話一四一番

平町白銀町
電話二九九番
水野石炭店

平町驛前
電話六八〇番
山崎合名會社

自動車協會平支部

柏原 幸次郎

平町田町
電話七三番
佐藤三平

大塚 製靴部
主 大塚風三郎
電話七三番

質物一般
多田井質店

平町播磨小路
電話五三五番
ライト寫眞館

平町田町
中島寫眞館

明けまして御芽出度う御座います
昨年中は終始變らざる御引立を蒙り厚く御禮申上ます
本年も弊店一同一層の緊張と努力を以て年來の御後援
に副ひ奉度く存じます何卒本年も倍舊の御同情御鞭撻を
賜り度く俯して御願申上げる次第で御座います
昭和十年一月元旦

恭賀新年

平製氷株式會社
 社長 木村清治
 事務取締役 松本一郎
 石城郡植田町長

古川傳一
 衆議院議員

鈴木辰三郎
 衆議院議員

關内正一
 平町長

小名濱水産株式會社
 社長 水野政次郎
 常務取締役 佐藤作平

釜屋商店
 諸橋久太郎

小野晋平
 縣會議員

小田吉治
 衆議院議員

高橋商會
 平町白銀町 (電話六三八番)
 高橋龜松

伊藤淺之助
 石城郡飯野村

阿部政右衛門
 平警察署長

横山宗延
 平町長

青沼鋒太郎
 衆議院議員

比佐昌平
 縣會議員

萩原義雄
 縣會議員

井上茂作
 縣會議員

佐藤庄太郎
 衆議院議員

木村清治
 石城郡大浦村

住吉屋本店
 旅館 御料理
 平町紺屋町
 電話一五九番

二葉印刷所
フタバ磁氣再生療院
 熊平町仲謙次郎 (電話一九三番)

草野正壽
 上小川消防組頭

鈴木勇
 肥料節製製造
 石城郡豊間村

磐城水産工業株式會社
 社長 小野晋平
 支配人 福尾伊太郎

五十嵐炭礦不動澤鑛業部
 石城郡内郷村白水

小田炭礦萩原鑛業部
 萩原申八

成田儀六
 川崎第百銀行神田支店長

大平睦四郎
 石城郡勿來町

日刊 七夕
磐城時報

市制施行調査委員

講堂竣工式
 豊間村では兼て工費一萬四千の小學校に講堂を新築中であつたが来る十九日盛大な竣工の式典を挙げる。

戀の男女駈落
 青森驛から連れ戻さる

平町區長會 平町區長會は十日午前十時から開く。
 縣道工事竣工 錦村小學校前
 縣道延長三十間は去月二十七日工費千圓で改修工事に着手した。

